

環境に関心を持とう！エコ定期預金のご紹介

ファイナンシャル・プランナー 伊藤 亮太

昨今様々な場面で環境問題が取り上げられることが多くなってきている。皆さんの中にもエコに関して興味がある方は多いであろう。私たち自身で例えば「レジ袋をもらわない」ことや「割箸を極力使用しない」などといったエコ活動を行うことも是非行っていただきたいことであるが、実は預金を行うことでもエコ活動に協力することができる。今日はそんな環境重視の、現在預け入れることが可能な「エコ定期預金」をご紹介します。

■東京都民銀行・東日本銀行・八千代銀行が取り扱う『東京緑の定期』

東京に緑を増やし、世代を超えて緑を引き継ぐ目的で「緑の東京募金」という募金が創設されているのはご存じでしょうか。今回、東京都民銀行・東日本銀行・八千代銀行の3行が取り扱う『東京緑の定期』では、東京都が実施するこの「緑の東京募金」に定期預金残高（平成22年9月末日残高）の0.01%相当額（1行最高100万円）を寄付することでエコ活動に貢献するものとなっている。寄付された金額は、街路樹の整備や花粉の少ない森づくりなどに有効活用されることとなっている。

取扱期間は2010年9月30日（木）までとなっているが、既に東京都民銀行では取扱高が販売限度額100億円に達したため、取扱終了となっている。期間中に東京緑の定期を契約した方には、「緑の東京募金特製絵はがき」と「花のたね」がプレゼントされる。

緑あふれる東京にしたい。そんな思いのある方は取扱各銀行ホームページをご覧ください。

<東日本銀行ホームページ>

<http://www.higashi-nipponbank.co.jp/personal/saving/midori.html>

<八千代銀行ホームページ>

<http://www.yachiyobank.co.jp/kojin/tameru/teiki/midori10.html>

※東京都民銀行は、既に販売終了しているため掲載を省略

<東京緑の定期預金>の概要

取扱期間	平成22年9月30日（木）まで 販売限度額（各行100億円）に達した場合には取扱終了の場合あり
預入金額	東日本銀行：30万円以上1,000万円以内 八千代銀行：100万円以上1,000万円以内
預入期間	1年
適用金利	店頭表示金利+0.1%

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2010 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

■みなと銀行が取り扱う『みなとエコ物語（カーボンオフセット定期預金）』

この定期預金は、預金者とみなと銀行と一緒に地球温暖化防止に貢献することができるものである。『みなとエコ物語』では、森林カーボンオフセットサービスを利用している。

カーボンオフセットとは、環境省ホームページ*によれば、『日常生活や経済活動において避けることができないCO2等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるといふ考え方』をいう。つまり、簡単にいえば、上記のカーボンオフセット定期預金とは、みなと銀行が預金者から集めた預金の0.1%相当額を兵庫県内の森林活性化のために使用し、CO2削減に貢献することをさすといえる。

取扱期間は2010年9月30日（木）までとなっているが、期間中に募集金額（50億円）に到達した場合には取扱を終了することとなっている。期間中に預け入れた方には、「森林カーボンオフセット利用証明書」の写しが、また100万円以上預け入れた方には間伐材ノベルティをあわせてプレゼントされる。

兵庫県の美しい森を守るための定期預金。興味のある方はみなと銀行ホームページをご覧ください。

（みなと銀行ホームページ（PDF））<http://www.minatobk.co.jp/kojin/pdf/20100301.pdf>

※環境省HP：http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset.html

＜みなとエコ物語（カーボンオフセット定期預金）概要

取扱期間	平成22年9月30日（木）まで 販売限度額（50億円）に達した場合には取扱終了の場合あり
預入金額	10万円以上
預入期間	1年
適用金利	1年ものスーパー定期預金 店頭表示金利

以上、現在取り扱われているエコに貢献する定期預金をご紹介した。将来の環境を考えて活動する、こうした定期預金に預けるのもよいのではないだろうか。

なお、年間を通してみれば、環境を意識した定期預金は他の銀行、信用金庫などからも過去に発売されている。お近くの金融機関でも取り扱われるかもしれない。お時間のある時にでも、エコ定期預金など私たちが貢献できる金融商品がないか金融機関のホームページを見てみるとよいであろう。